

平成 30 年度
大学院自然科学研究科
(博士後期課程)
進学者選考要項

出願期間	平成29年7月19日(水)～7月24日(月)
試験日	平成29年8月22日(火)
合格発表日	平成29年9月7日(木)

熊本大学



大学院自然科学研究科
Graduate School of Science and Technology
(Doctoral Degree Program)

目 次

自然科学研究科の理念・目標	2
アドミッションポリシー	
1. 専攻及び募集人員	4
2. 出願資格	4
3. 出願期間	4
4. 出願手続	4
5. 提出書類等	4
6. 選考方法	5
7. 試験日時・試験科目・集合場所	5
8. 選考結果発表	6
9. 進学手続等	6
10. 注意事項	6
11. 問合せ先	6
個人情報の取り扱い	6
平成29年度 入学試験実施状況表	7
入学志願票の記入上の注意	8
本籍地コード（別表1）	9
専攻・講座コード（別表2）	10

以下の出願書類のうち、①②は自然科学系事務課大学院教務担当で「学生募集【出願要項】」を別途配布します。それ以外はウェブサイト（<https://www.fast.kumamoto-u.ac.jp/gsst/juken/>）よりダウンロードできます。

- ① 入学志願票
- ② 写真票・受験票・住所票
- ③ 志望理由書
- ④ 研究（希望）計画書
- ⑤ 修士学位論文要旨又は研究経過報告書

熊本大学では、平成 30 年 4 月から、5 専攻に分かれていた自然科学研究科教育組織を「自然科学教育部」として再編成することを予定しています。この計画は、文部科学省の審査結果を受けて確定するものであり、変更がありえます。

平成 29 年度に実施する平成 30 年度 4 月入学大学院入学試験は、現行の専攻及びコースを単位として実施し、試験の実施方法等については昨年度から大幅な変更はありません。

入学後の所属等は以下のとおりとなりますので、ご注意ください。

平成 30 年度 4 月入学者

- ・自然科学教育部（仮称）に入学し、指導教員が担当する専攻及びコース（教育プログラム）で実施される教育課程を履修します。
- ・所属する専攻及びコース（教育プログラム）は、指導教員が担当する専攻及びコース（教育プログラム）となります。

※詳細については、自然科学研究科ホームページをご覧ください。

<https://www.fast.kumamoto-u.ac.jp/gsst/juken/>

自然科学研究科の理念・目標

自然科学研究科では、多様化する社会のニーズと学術研究の多方面・地球規模の複合領域に柔軟に対処し、堅実な基礎学力と広い分野にわたる応用能力を備えた総合的・国際的視野を持つ実践的・創造的・国際的人材を育成することを理念とし、社会との連携により先端科学の構築を積極的に推進します。

アドミッションポリシー

博士後期課程

自然科学の広範な分野に対する興味と教養ある社会人・国際人としての自覚を有し、科学・技術の先端分野へ果敢に挑戦する強い目的意識と意欲を持ち、新たな課題を自ら見出し解決してゆく能力と柔軟な創造力を磨き高めようとする人を求める。

<理学専攻>

本専攻は、自然科学に関する深い専門的知識と洞察力を備え、広い視野と高い倫理観を持ち、自ら国際的に通用する研究を展開できる人材の養成を目的としている。修了後、研究者として重要テーマの研究を展開し、最先端の研究を切り開くことのできる人材、あるいは教員や公務員、企業に所属する高度専門職業人として、理学の専門知識を生かした活躍のできる人材の育成を目指す。

以上のような観点から、本専攻は、次のような人を求める。

- 自然科学に高い関心を持ち、学問に精進努力する人
- 柔軟な創造性と適切なバランス感覚で先端的な学術を発展させ応用する強固な意志を持つ人
- 我が国はもとより世界のリーダーを目指す人

<複合新領域科学専攻>

本専攻では、本学が独自に創出した最先端複合領域科学を理工融合のもとで強力に推進し、新たな複合領域科学を創成するための研究と教育を行う。すなわち本専攻では、博士前期課程及び学部において理学あるいは工学を含む自然科学の基礎と応用を学んだ学生に対して、その知識を融合した新たな学問領域の開拓へと繋げるための高度な研究教育を行い、世界トップレベルの研究者として育成することを目指している。実践的な教育プログラムにより、最先端分野を切り開き世界をリードする活力と独創性に満ちた次世代研究者の速やかな育成を目的としている。

以上のような観点から、本専攻は次のような人を求める。

- 世界トップレベルの研究者になろうとする高い志のある人
- 直面する地球規模の課題や人類の未来に関する問題に深い関心を持ち、それらの問題解決に意欲のある人
- 先端科学技術の開発により人類の福祉に貢献することを目指している人
- 国際的視野を持つ創造性豊かな研究リーダーに成長しようという強い意志をもつ人

〈産業創造工学専攻〉

近未来の科学技術を基盤とした産業には、ものづくりの基礎から応用までを一貫した総合的・学際的な科学技術の開発が必要とされる。本専攻では、人類の幸福を目指し人間性豊かで活力ある社会を築くため、新しい科学技術の開発や従来技術の機能的連携・再編を行いながら、多様化する社会環境の変化に対応し得る総合的な教育・研究を行い人材の育成を図る。

以上のような観点から、本専攻は、次のような人を求める。

- 物質、材料、機械の分野の中から該当する専門をより深く学習・研究する意欲を持ち、柔軟な創造性と豊かな感性で先端的な学術を進展させ応用する意志を持つ人
- 専門的知識を活かして世界人類繁栄のために貢献し、我が国はもとより世界のリーダーを目指す人
- 次世代の高度な科学技術を確固たる倫理観と責任感をもって主体的に発展させ、新規産業創成の担い手になろうとしている人

〈情報電気電子工学専攻〉

本専攻は、先端情報通信・機能創成エネルギー・人間環境情報分野及び応用数理分野など、高度情報化社会の基盤となる情報電気電子工学に関連する高度で深遠な専門的知識と、地球規模の広い視野と高い倫理観に基づく見識とを持った、国際的に活躍できる研究者・高度専門技術者の養成を目的としている。

以上の観点から、本専攻は、次のような人を求める。

- 情報電気電子工学の基礎的・先駆的な学術研究を推進し、人類の福祉に貢献しようという高い意識を持った人
- 情報電気電子工学の総合的な体系を展開・応用して、高度情報化社会の要請に応えたいという高い意欲を持った人
- 国際的視野を持つ創造性豊かな技術者・研究者に成長しようという強い意志をもつ人
- 以上のような明確な目標を持って自発的・自律的に学習し研究のできる人

〈環境共生工学専攻〉

本専攻は、自然環境、社会環境及び人間環境のより良い調和と共生を探究するとともに、少子高齢化に伴う社会構造の変化や環境負荷の低減による持続可能なまちづくりなどの多様化する社会の要請に応えることのできる環境共生技術の創造を理念としている。そして、それを推進するための研究開発と人材育成を目的としている。

以上のような観点から、本専攻は、次のような人を求める。

- 自然環境、社会環境及び人間環境との調和・共生に関する基礎工学から応用技術までを含めた総合的先端技術開発に対応でき、各分野で必要とされる基礎学力を有する人
- 研究活動の国際化に対応できる英語のコミュニケーション能力と研究成果を解りやすく発表できるプレゼンテーション能力などを有する人
- 明確な目標をもって自発的・積極的・自立的に研究することができ、豊かな創造性を有する人

1. 専攻及び募集人員

専攻名	募集人員
理学専攻	各専攻とも若干名
複合新領域科学専攻	
産業創造工学専攻	
情報電気電子工学専攻	
環境共生工学専攻	

2. 出願資格

本学の大学院修士課程又は博士前期課程を平成30年3月修了見込みの者。

3. 出願期間

平成29年7月19日(水)～7月24日(月)16時まで(必着)

4. 出願手続

持参する場合は、9時から16時までとします。

郵送する場合は、封筒の表面に「大学院自然科学研究科(博士後期課程)進学願書在中」と朱書きし、『書留速達』で郵送してください。

【提出先】 〒860-8555 熊本市中央区黒髪2丁目39番1号
熊本大学自然科学系事務課大学院教務担当

5. 提出書類等

提出書類等	提出該当者	摘要
入学志願票	全員	所定用紙 ：p. 8の「記入上の注意」を参照してください。
写真票・受験票・住所票	全員	所定用紙
写真(2枚)	全員	縦4cm×横3cm、上半身脱帽正面向きで撮影したものを「写真票」及び「受験票」に貼ってください。
志望理由書	全員	所定用紙 ：本研究科を志望する理由並びに指導希望教員の氏名を記入してください。
研究(希望)計画書	全員	所定用紙 ：指導予定教員と相談の上、作成してください。
修士学位論文要旨 又は研究経過報告書	全員	所定用紙 ：2,000字程度。なお、これ以外に研究発表など参考となる資料があれば提出してください。
受験票返送用封筒	全員	定型封筒(長形3号(23.5cm×12cm))に郵便番号・住所・氏名を明記し、362円分(速達料金を含む)の切手を貼ったもの。
修了見込証明書 (オリジナルを提出(コピー不可))	自然科学研究科以外 を修了見込みの者	所属長が作成したもの。 本研究科修了見込みの者は不要です。
成績証明書 (オリジナルを提出(コピー不可))	自然科学研究科以外 を修了見込みの者	所属長が作成したもの。 本研究科修了見込みの者は不要です。
就学承諾書	社会人入試 志願者	勤務先の所属長又は機関の長が作成したもの。(様式随意) 提出できない場合は、それに準ずるもの。(誓約書等)
住民票の写し (オリジナルを提出(コピー不可))	外国人志願者	市町村長発行の在留資格及び在留期間を明記した「住民票の写し」を提出してください。 出願者以外の世帯員については、証明不要です。
推薦状	任意提出	本研究科の指導教員、又は社会人院生は勤務先の上司が作成したもの(様式随意)。

- (注) 1. 改姓等により、現在の氏名と証明書の氏名が異なる場合は、戸籍抄本を添付してください。
2. 身体に障がいや有する進学志願者で、受験上及び修学上特別な配慮を希望する場合は、平成29年7月24日までに、自然科学系事務課大学院教務担当(096-342-3013)へ相談してください。
3. 進学後、提出書類及び記載事項に虚偽の記載が発見された場合は、入学を取り消すことがあります。

6. 選考方法

進学者の選考は、口述試験の成績及び提出書類を総合して判定します。

また、口述試験の内容は、志望する専攻によって以下のとおりです。

専攻名	口述試験の内容
理学専攻	研究（希望）計画書等の内容について行う。 また、修士の学位又は専門職学位（外国における修士の学位又は専門職学位に相当する学位を含む）を取得している出願者については、修士学位又は専門職学位論文の内容についても行う。
複合新領域科学専攻	修士の学位又は専門職学位（外国における修士の学位又は専門職学位に相当する学位を含む）の論文あるいはそれに代わる研究成果の内容と、入学後の研究（希望）計画を英語で説明する。これらの学位を取得見込みの出願者については、研究経過の内容、今後の研究計画および入学後の研究（希望）計画を説明する。その後、その説明内容、志望する研究分野の知識などについて英語による試問を行う。
産業創造工学専攻	修士の学位又は専門職学位（外国における修士の学位又は専門職学位に相当する学位を含む）の論文あるいはそれに代わる研究成果の内容と、入学後の研究（希望）計画を説明する。これらの学位を取得見込みの出願者については、研究経過の内容、今後の研究計画および入学後の研究（希望）計画を説明する。その後、その説明内容、志望する研究分野の知識および英語力について試問を行う。
情報電気電子工学専攻	研究（希望）計画書等の内容について行う。 また、修士の学位又は専門職学位（外国における修士の学位又は専門職学位に相当する学位を含む）を取得している出願者については、修士学位又は専門職学位論文の内容についても行う。修了見込みの者については、研究経過の内容について行う。 ただし、口述試験に専門分野及び外国語についての学力試験を含めることがある。 また、必要に応じて、これらの分野の筆記試験を行うことがある。
環境共生工学専攻	専門分野の知識、英語力及び研究（希望）計画書等の内容について試問を行う。 また、修士の学位又は専門職学位（外国における修士の学位又は専門職学位に相当する学位を含む）を取得している出願者については、修士学位又は専門職学位論文の内容についても試問を行う。

7. 試験日時・試験科目・集合場所

日時	選抜方法	時間	集合場所
平成29年8月22日（火）	口述試験	10:00～	次表のとおり（9時30分までに入室すること。）

専攻名	講座名	集合場所
理学専攻	数理学講座	理学部3号館4階 D403セミナー室
	物理学講座	理学部2号館3階 C331小講義室
	化学講座	理学部2号館2階 C228小講義室
	地球環境科学講座	理学部2号館4階 C413会議室
	生命科学講座	理学部1号館3階 C306会議室
複合新領域科学専攻	複合新領域科学講座	共用棟 黒髪3 5階515室
産業創造工学専攻	物質生命化学講座	工学部研究棟II-2 (物質生命化学科) 2階図書閲覧室
	マテリアル工学講座	工学部研究棟I 11階1103-1 図書閲覧室
	先端機械システム講座	工学部研究棟I 4階402教室
	機械知能システム講座	工学部研究棟I 5階502会議室
情報電気電子工学専攻	先端情報通信工学講座	(黒髪) 総合研究棟 204多目的会議室
	機能創成エネルギー講座	(黒髪) 総合研究棟 208セミナー室
	人間環境情報講座	共用棟黒髪1 1階情報電気電子工学科講義室
	応用数理講座	工学部研究棟III (数理工学科) 2階202会議室
環境共生工学専攻	広域環境保全工学講座	工学部研究棟I 9階905号室
	社会環境マネジメント講座	工学部研究棟I 9階905号室
	人間環境計画学講座	仮設校舎A棟 1階A116 建築ゼミ室
	循環建築工学講座	仮設校舎A棟 1階A116 建築ゼミ室

8. 選考結果発表

平成29年9月7日(木) 11時

合格者には合格通知書を送付します。

また、本学ウェブサイト(<http://www.kumamoto-u.ac.jp>)にも、参考までに合格者の受験番号を掲載します。(11時頃の予定)

なお、多数のアクセスにより、一時的に応答が遅くなったり、回線の障害が発生し閲覧ができなくなることも予想されますので、ご留意願います。

合格通知書の氏名については、コンピュータに登録する際に慣用字体を用いますので、志願票の表記と異なる場合があります。また、対応できない場合は、カタカナで表記しますのでご了承ください。

なお、電話等による可否の照会には一切応じません。

9. 進学手続等

進学手続の詳細については、合格通知書発送の際に同封します。

10. 注意事項

- (1) 出願に当たっては、あらかじめ指導希望教員に連絡をとり、相談してください。
- (2) 出願書類を受理した後は、記載事項の変更及び検定料、出願書類の返還等はできません。
- (3) 受験の際は、受験票を必ず持参してください。また、携帯電話等の電源は切ってください。
- (4) 不正行為をした者は、失格となります。
- (5) 受験票は、入学手続きの際にも必要ですので紛失、汚損等のないようにしてください。
- (6) 進学者選考は検定料の払込みは不要です。

11. 問合せ先

受験に関する問合せは、自然科学系事務課大学院教務担当(電話番号 096-342-3013)で受け付けます。
[英語での問合せ先も同じ]

個人情報の取り扱い

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報については、入学選抜で利用するほか、次のとおり利用します。

- (1) 合格者の氏名等を入学手続に係わる業務で利用します。
- (2) 入学手続者の氏名等を入学後の学籍管理など修学に係わる業務で利用します。
- (3) 入学手続者及び学資負担者の住所・氏名等を授業料徴収など納入金管理に係わる業務で利用します。
- (4) 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、入学料免除・授業料免除及び奨学生選考など修学支援に係わる業務で利用します。
- (5) 個人が特定できないように統計処理したデータを、入学選抜に関する調査・研究等で利用します。

(注) 本学が取得した個人情報は、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」第9条に規定されている場合を除き、出願者本人の同意を得ることなく他の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

平成29年度 入学試験実施状況表(10月入学を含まない)

熊本大学大学院自然科学研究科博士後期課程

専攻名	募集人員	選抜区分	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
理学専攻	10	一般	0	0	0	0
		社会人	1	1	1	1
		進学者	10	10	10	10
		IJEP	0	0	0	0
		合計	11	11	11	11
複合新領域科学専攻	18	一般	0	0	0	0
		社会人	0	0	0	0
		進学者	1	1	1	1
		IJEP	0	0	0	0
		合計	1	1	1	1
産業創造工学専攻	14	一般	0	0	0	0
		社会人	1	1	1	1
		進学者	8	8	8	7
		IJEP	0	0	0	0
		合計	9	9	9	8
情報電気電子工学専攻	10	一般	0	0	0	0
		社会人	0	0	0	0
		進学者	2	2	2	2
		IJEP	1	1	1	1
		合計	3	3	3	3
環境共生工学専攻	10	一般	0	0	0	0
		社会人	3	3	3	3
		進学者	5	5	5	5
		IJEP	0	0	0	0
		合計	8	8	8	8
合計	62	一般	0	0	0	0
		社会人	5	5	5	5
		進学者	26	26	26	25
		IJEP	1	1	1	1
		総計	32	32	32	31

※表中の「一般」は一般入試,「社会人」は社会人入試,「IJEP」は外国人のための英語による特別コース入試を示す。全専攻とも社会人入試の募集人員は若干名。

【(博士後期課程)入学志願票の記入上の注意】

1. 入試区分等	募集区分	該当する募集区分の番号を○で囲んでください。
	入試区分 受験番号	該当する入試区分の番号を○で囲んでください。 記入しないでください。
2. 氏名	フリガナ 氏 名	氏と名を分けて記入してください。 外国人の方のみ、ミドルネームまで記入してください。
	3. 生年月日等	生年月日
	性別	該当する性別の番号を○で囲んでください。
4. 本籍地等	本籍地(国籍)	都道府県名を記入してください。 日本国籍で無い方のみ国籍名を記入してください。
	本籍地県コード	別表 1 を参照の上, 2 桁のコードを記入してください。 (例) 熊本県→ 4 3
5. 旧学生番号	旧学生番号	現在の学生番号を記入してください。
6. 出願資格 (出身大学等)	出身大学等 所在都道府県	都道府県名を記入してください。
	卒業年月	大学等を卒業した年月を西暦 4 桁, 月 2 桁の合計 6 桁で記入してください。
	出身大学等	国立・公立・私立の該当するものを○で囲んでください。 卒業した大学名, 学部名, 学科名を記入してください。 大学卒業以外の方は出来るだけ詳細に卒業学校を記入してください。
	出身大学院所在地	修了見込みの大学院等の所在地の都道府県名(熊本)を記入してください。
	出身大学院等	『国立』を○で囲んでください。 修了見込みの大学院名(熊本大学), 研究科名, 課程, 専攻名を記入してください。
	出身大学コード	0384 を左詰めで記入してください。
	修了見込・修了の別	1. 修了見込の 『1』 を○で囲んでください。
	修了年月(西暦)	修了見込みの年月 201803 を記入してください。
7. 志望専攻等	志望専攻	志望する専攻名を記入してください。
	専攻コード	志望する専攻のコードを, 別表 2 を参照の上, 記入してください。
	志望講座	志望する講座名を記入してください。
	講座コード	志望する講座のコードを, 別表 2 を参照の上, 記入して下さい。
8. 住所	現住所	郵便番号, 現住所, 電話番号及びEメールアドレスを記入してください。
	緊急連絡先	現住所以外に緊急連絡先があれば記入してください。
9. その他	社会人区分	入学が許可された場合, その後の状況が次に該当する場合は『1』 を, 該当しない場合は『2』 を○で囲んでください。 ・給料, 賃金, 報酬, その他の経常的な収入を目的とする仕事に就いている方(ただし企業等を退職した方, 及び主婦の方も含まれます。)
	留学生区分	留学生である場合は, 該当する番号を○で囲んでください。 留学生でない場合は記入の必要はありません。

※入学志願票及びその他の書類については, 必ず志願者本人が, 後で消せない黒のボールペンを使用し, 楷書で明確に記入してください。鉛筆や消せるペンの使用は認めません。(ダウンロードして利用する書類については, パソコンによる入力も可。)

本籍地コード(別表1)

県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等	県コード	県名等
01	北海道	13	東京都	25	滋賀県	37	香川県	50	外国
02	青森県	14	神奈川県	26	京都府	38	愛媛県		
03	岩手県	15	新潟県	27	大阪府	39	高知県		
04	宮城県	16	富山県	28	兵庫県	40	福岡県		
05	秋田県	17	石川県	29	奈良県	41	佐賀県		
06	山形県	18	福井県	30	和歌山県	42	長崎県		
07	福島県	19	山梨県	31	鳥取県	43	熊本県		
08	茨城県	20	長野県	32	島根県	44	大分県		
09	栃木県	21	岐阜県	33	岡山県	45	宮崎県		
10	群馬県	22	静岡県	34	広島県	46	鹿児島県		
11	埼玉県	23	愛知県	35	山口県	47	沖縄県		
12	千葉県	24	三重県	36	徳島県				

専攻・講座コード（別表2）

専攻 コード	専 攻 名	講座 コード	講 座 名
10	理 学 専 攻	10	数 理 科 学 講 座
		20	物 理 科 学 講 座
		30	化 学 講 座
		40	地 球 環 境 科 学 講 座
		50	生 命 科 学 講 座
20	複 合 新 領 域 科 学 専 攻	10	複 合 新 領 域 科 学 講 座
30	産 業 創 造 工 学 専 攻	10	物 質 生 命 化 学 講 座
		20	マ テ リ ア ル 工 学 講 座
		30	先 端 機 械 シ ス テ ム 講 座
		40	機 械 知 能 シ ス テ ム 講 座
40	情 報 電 気 電 子 工 学 専 攻	10	先 端 情 報 通 信 工 学 講 座
		20	機 能 創 成 エ ネ ル ギ ー 講 座
		30	人 間 環 境 情 報 講 座
		40	応 用 数 理 講 座
50	環 境 共 生 工 学 専 攻	10	広 域 環 境 保 全 工 学 講 座
		20	社 会 環 境 マ ネ ジ メ ン ト 講 座
		30	人 間 環 境 計 画 学 講 座
		40	循 環 建 築 工 学 講 座